

NAGASAKI JC MAGAZINE

# JC NEWS

特集

追悼：古野清賢 先輩  
神戸JC・長崎JC盟約締結の立役者

理事長挨拶 / 10月の事業報告

11月お誕生日紹介

11月の事業予定

11

Vol.794  
November 2024

2024年11月10日 発行



# 理事長挨拶

~Chairperson's Message~



一般社団法人長崎青年会議所

第72代  
理事長

田添 太一

## 「不連続の連続」なJC活動・運動

日脚が早くなり、また肌寒い季節がやって参りました。皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。気づけば11月に入り、本年の活動も残すところ2か月弱となって参りました。本当にあっという間には過ぎるものだと痛感させられます。私は、まだ予定した事業を残しておりますが、並行して、今年の振り返りと引継ぎについて考え始めています。JCは単年度制ゆえ、その年々でチーム編成が変わり、活動・運動にも特色の変化が付きやすいです。よく、そのような在り方を「不連続の連続」と表現することがありますが、それを途切れや区切りの繰り返し、または、一つ一つの横並びと単純に捉えてはなりません。例えるなら、それぞれの年度カラーを混ぜ合わせ、どのような配分を用いれば、更に良い発色を生み出すことができるのか研究を重ねることでしょうか。

私も予定者の頃、本職をお預かりするにあたり、前年より引き継ぐもの、大先輩の時代に学ぶもの、そして、新たに加えるべきもの。それらをどう融合させるべきか頭を悩ませました。そのとき、最善と思っていた調色も一年が過ぎた現在は、もう一度改善をしてみたいと感じています。つまり、交わりの部分が特に大切です。社会変化の波を受ける。新たな知見に触れる。新たな仲間が加わる。など、様々な交わりの中で目的への向かい方は常々変わってきます。それが求められる変化の真意であると思います。これまで長崎JCが築き上げてきたものに、私達が本年培ったものを上乘せして、次なるチームにどのようにバトンを託すか、そして、それを受け取りどのように走り出すか態勢を整え、次年度一年間も様々な影響を基に、良き変化を続けて下さい。

また、皆様個々人にとってはJC活動の一年間を無事にやり遂げることは、それぞれの目標であっても、目的ではないことを心に留めていただきたいと思います。私達の目的はただ一点、自身や周りの未来を明るく豊かにしていくことであり、そのために必要な前向きな意識と前進姿勢だけは変わるべきものではない。このことだけは不変な概念です。第72年度で得た経験を基に自分の成長のため、地域の発展のためにお役立ていただけましたら、大変嬉しく思います。





そして、本年は長崎ブロック内でもLOMの創立周年記念式典が多くございましたが、北松浦JC、福江JC、諫早JC、大村JCの皆様がそれぞれの歴史の節目を祝い、これから見定めるべき地域の未来ビジョンについて力強く発信されておりました。そのように、我々に限らず離れた地で活躍されるJAYCEEの仲間も社会背景に合わせ、今自分達が何を為すべきかを真剣に考え、良き変化のための行動を起こしています。自分達の地域を創り上げるのは、自分達しかいません。困難渦巻く時代に「100年に一度の変革」がもたらす好機を決して逃すことがないよう長崎JCが起点となって行動を起こして参りましょう。

残す事業もわずかとなってきましたが、最後の一つまで私達にとって大切な事業です。その成果を最大限高めるためには、メンバーの皆様お一人お一人の助力が不可欠になります。次年度の活動も重なり、大変お忙しい中とは存じますが、最終最後までご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# — 特集 —

## 追悼：古野 清賢 先輩 神戸JC・長崎JC盟約締結の立役者

去る、令和6年6月26日、長崎JCのOBであられる  
古野 清賢先輩がご逝去されました。

令和6年9月30日に開催されたお別れ会には、  
田添理事長と大平専務理事が参加されました。

会場には元長崎県知事であり、1980年に日本JC水産部会会長を  
務められた金子原二郎先輩を始め、各界の著名人の方も大勢いら  
っしゃり、古野先輩のご功績を感じられる会だったそうです。

古野先輩は生前、JC活動に多大なるご尽力をされ、日本JCの水産  
部会の設立に携わり、また長崎JCと神戸JCとの盟約締結に関して  
橋渡しをいただいた先輩でもあります。

ご逝去に際し、謹んで哀悼の意を表すとともに  
古野先輩のご経歴を称え、ご紹介いたします。





# — 特集 —

## プロフィール

生年月日：1926年（大正15年）4月20日生（享年99歳）

出身地：長崎県南島原市

現住所：兵庫県西宮市



## 社業のご経歴

- 1938 兄・古野清孝氏(故人)とともに古野電気商会を設立。  
ラジオ修理業を開始。
- 1948 世界初の魚群探知機の実用化に成功し、古野電気工業所を設立
- 1955 古野電気株式会社を設立。同社専務取締役



## JC在籍期間（次ページへ）

- 1976 古野電気株式会社 代表取締役副社長
- 1977 神戸海運局長表彰（海事関係事業功労）
- 1982 運輸大臣表彰（海事関係事業功労）
- 1986 社団法人漁船協会会長・感謝状
- 1987 古野電気株式会社 代表取締役社長
- 1988 藍綬褒章
- 1992 古野電気株式会社 代表取締役会長
- 1993 社団法人大日本水産会・水産功績者表彰
- 1996 古野電気株式会社 常任相談役
- 2003 農林水産大臣・感謝状
- 2007 旭日小綬章
- 2014 古野電気株式会社 名誉相談役



# JCでのご経歴

**1956年**  
都市美化委員会

**1957年**  
観光委員会

**1958～1959年**  
観光委員会

長崎国際文化センター建設協力  
特別委員会 委員長を兼務

**1960年**  
監事  
日本JC 教育青年委員会 出向

**1961年**  
理事  
(本社を兵庫県西宮市へ移転)

**1962～1963年**  
渉外担当理事

**1964年**  
渉外担当理事  
日本JC 国際交流委員会 出向  
神戸JC・長崎JC 友好盟約締結

**1965年**  
渉外担当副理事長  
最優秀JAYCEE賞 受賞

**1966年**  
渉外担当副理事長  
日本JC 国際経済委員会 出向 (委員長)



「長崎国際文化センター建設協力特別委員会」とは？

長崎国際文化センター建設は、被爆10周年を迎えた長崎市に5か年計画で国内外から15億円の資金を募り、文化施設の建設を行うものであり、長崎水族館や県立図書館などの施設が建設されました。

長崎県が推し進めるこの計画に長崎青年会議所として参画し、委員会の委員長を務められました。資金集めを全国のJC会員に全国大会の場で呼びかける運動を行われたのが古野先輩なのです。





# 古野先輩の記事

## 明日のより良き北海道のために

古野君第13回北海道地区会員大会に参加

第13回北海道地区会員大会が、7月12日午前9時から、札幌市民会館で開かれました。

『北海道の開発こそ日本経済発展のポイントである。第2期道綜合開発に情熱を傾け、総力を結集しよう』と、若い情熱に奮い立つフロンティアマン約1100人が参加して、北海道拓殖銀行頭取の記念講演を中心に、午後から会場を中央創成小学校に移して12分科会が持たれました。

私は第8分科会（議長根室JC飛沢仁郎君）『明日のより良き北海道のために漁業はいかにあるべきか』に出席し、同じ水産県の立場から意義深い会議でした。会議中、特に問題として取り上げられたのは、

(1) 漁業における生産性や所得が、第2次、第3次産業従事者との間に大きな格差が生じつゝあり、特に沿岸漁業は、更に地位の低下、格差の拡大を来しています。

そこで(2) 沿岸漁業振興の基本方向 (3)沿岸漁業の近代化はどうあるべきかの項目を主に、構造政策特に、構造改善、資源の変動、漁業形態の変化について活発な討議が行われました。

その対策として、

(1) 先ず漁民の純化をはかって、漁場や資源に見合った適正就業を実現することが先決である、そのためには、若令層の流出を極力抑制し、中高年令層の流出を助長することが必要である。

(2) このような、就業構造の改善によって、適正な漁場利用のもとに経営規模を拡大する可能性が生まれる。

(3) これらによって、いわゆる企業的経営が育成されるので、十分な意欲をもった「壮年漁家」を重点として、将来目標を持たせたい。

(4) また、道内消費力が小さく、消費市場に遠く、高級魚に恵まれていないので、加工業を振興せねばならない。

(5) 漁港の整備と関連して、漁村住宅の整備、社会教育、福祉施設等の充実により、住みよい漁村を建設すべきである。

この5項目が、最も緊要な問題であるとして取り上げられました。

なお、例によって最遠隔JC賞を受け、また、長崎JCから、札幌JCや、昨年大会でお世話になった帯広JC、来年大会を引き受けた釧路JCへ、そして国境の町稚内JCと、根室JCに記念のパーナを贈呈し、長崎JCの印象を大いに深めて戴きました。

(渉外担当理事 古野清賢)

### 新しい観光の町—稚内 創立10周年大会に出席

8月8日、90名のJC会員が、北の国境の町に集ってお祝した。写真は、氷雲の門で、宗谷海峡に臨み樺太に対して建っている。高さ10メートル余の台座の間に、樺太島民をしのぼせる女体ブロンズは、本郷新氏の力作である。



氷雲の門の前の古野清賢君



# 古野先輩の記事

JCよさらば!

1966年度日本青年会議所  
国際経済交流会 委員長  
長崎青年会議所副理事長

古野 清 賢

古野電気KK専務

年令の制限でわたくし  
も恋しいJCから“三下  
り半”を渡され泣く泣く  
お別れをいたしました。  
大正生まれの最後の会員  
でした。これでJCもい  
よいよ昭和生まれの方々  
だけの新時代が始まった



のです。消えていく老兵に一滴の涙をそそいでくださ  
い。

さて、感傷的なことを申し上げるのはよして、心か  
らJCの皆さんに御礼申し上げます。本当に多くの皆さん  
にお世話になりました。友情に対して感謝の気持で一  
杯です。これからはシニヤー（Senior）として皆さんの  
ご活躍を愛情を以って見守っていきたくと存じます。

回顧いたしますと、わたくしが入会したのは東京でJ  
C Iの世界大会が開かれた年の春でした。弱輩ながら早  
速長崎の国際文化センターの建設に協力するための長崎  
JC内に設けられた特別委員会の委員長に選ばれていま  
したので、東京大会に長崎国際文化センターの建設に協  
力しようとの決議案を上程してもらうために未経験なが

— 3 —

らあれこれ運動をいしましたが、その決議案が可決され  
たときの感激は今でも忘れることはできません。これを  
一つの契機として、社会のため奉仕する喜びを知り、さ  
らに大きく社会奉仕に努力しようと決意をいたしました。  
それから一貫してJC運動に参加して指導者訓練  
を受けました。その間日本各地の会員だけでなく遠く海  
外の会員の方々にもお目にかかり、共に語り共に働くこ  
とによって多くの友人を得、それぞれ視野を拓けさせて  
いただきました。わたくしとしてこれ以上の喜びはあり  
ませんでした。

身体障害者のためのプロジェクトに参加したり、地域社  
会の開発計画について話し会ったりしたことは、今とな  
っては何もかも楽しい思い出です。本当に得難い経験を  
させていただいたと感謝しております。

特に、国際経済交流委員会創設や、「水産部会」の結  
成のお世話をしたこと、昨秋の韓国壘啞演奏団のわが国  
への招へいなど、苦しかったことや心配したことなども  
多々ありましたが、これらの事業や活動を通じて自身

が訓練されたという感じを持っています。

わたくしは、性分上やりかけたら徹底するタイプで、  
社内でも批判がなかったわけではありませんが、馬鹿に  
なってやり抜いたと思っています。何事も中途半成では  
真の面白味は分らないのではないのでしょうか。わたくし  
はお蔭でJC生活の楽しさを満喫させていただいたこと  
を有難くまた満足に思っています。

奇しくも東京におけるJC I東京大会が始まった、わ  
たくしのJCマン生活は昨秋の京都におけるJC I世界  
大会で幕を閉じることになりました。

「古き友は忘れらるべきや」というスコットランドの  
民謡が、日本では訣別の歌「螢の光」として歌われてい  
ます。わたくしはそれを聞きながらJCのよき友は忘れ  
ることはできないとしみじみ感じました。

最後に、JCの皆さんのご健祥と日本JCのご発展を  
祈念してお別れのご挨拶を終わります。有難うございま  
した。

古野先輩がご卒業なさるときのJCニュース記事です。







# 古野先輩の記事

世界の漁業、海運業の科学化・近代化に多大なる貢献

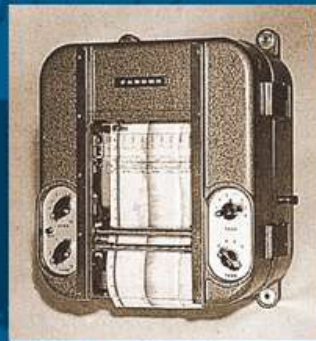
## 南島原市 名誉市民 古野清賢さん 逝く



名誉市民で古野電気株式会社の名譽相談役、古野清賢さん（98歳）が去る6月26日に逝去されました。

古野清賢は、兄の故清孝さんとともに昭和13年に旧南有馬町で、ラジオの販売・修理業を始めました。その後、口之津町に事業所を移し、古野電気の前身である古野電気商會を設立。以来、苦節10年世界で初めて魚群探知機の開発と実用化に成功しました。これを機に、昭和23年合資会社古野電気工業所を設立。清賢さんは主に営業部門を担当し、技術者の清孝さんと二人三脚で古野電気を船舶用電子機器分野における世界トップメーカーへ成長させました。

若いころから漁場で清孝さんが開発した魚群探知機の実験と操作指導で魚



初期の魚群探知機

を追求め、豊漁をもたらした清賢さんは漁師の間で「イワシの神様」と呼ばれていました。相談役就任後も現場をこよなく愛され、時間があれば会社へ顔を出して、次世代の育成に御尽力されました。

長年に渡る多大な功績が認められ、藍綬褒章や旭日小綬章をはじめ、運輸大臣表彰や農林水産大臣感謝状など、数々の表彰を受章されました。

本市との関わりに触れると、旧南有馬町から平成17年12月に南有馬町名誉市民の称号を受けられ、そして合併後の平成18年12月、南島原市名誉市民とされました。

清賢さん、清孝さんの古野ご兄弟は、故郷を愛し、地元を大事にされてこ



左から古野清孝さん、古野清賢さん

れました。平成16年からは、両氏の私費を投じ、旧南有馬町で古野賞科学技術展を開催され、現在でも、市内の小中学生が夏休み期間中に科学技術に興味を持って取り組み、科学的思考や表現力を育てることを目的に実施されています。さらに、両氏は、ふるさと納税制度である「南島原市ふるさと応援寄附」で多額の寄附をされるなど、ふるさとのために尽くされてきました。

清賢さんのこれまでの功績をたたえ、心からご冥福をお祈りいたします。

南島原市長 松本政博

南島原市名誉市民であり、古野電気株式会社名誉相談役 古野清賢様の訃報に接し、心からお悔やみ申し上げます。

古野清賢様には、古野賞科学技術展をはじめ、故郷・南島原市。に対し、幾多のご厚情を賜りました。

創業から今日の「世界のフルノ」と呼ばれるような偉大な業績と人格に深く敬意を表しますとともに、生前、清賢様がお話しくくださった「過去を過去として敬意を払いつつ、現在を見つめ冷静に分析でき、こそ、未来が拓ける。進歩のないところに、明るい未来はない。」とのお言葉のとおり常に未来志向の精神を私たち南島原市民は、これから受け継いでまいりたいと思っております。

ご家族と古野電気株式会社の皆様のご心痛をお察し申し上げますとともに、在りし日を偲び心からご冥福をお祈りいたします。



# 事業報告



## 10月例会

**10月会務室担当例会**  
～番外編：高木理事長アテンド～

**The Konshin**  
～会員の会員による会員のための夜～





# 10月例会

2024.10.15 (Tue)







去る、10月15日、ホテルニュー長崎にて、第72年度10月例会が行われました。当日は多くの会員に出席いただき出席率は86%でした。本年度の事業も大詰めを迎えてきており各種報告では事業報告や告知で情報共有することができました。Show Timeは時間の都合で割愛することとなってしまいましたが残り2回のShow Timeへご期待下さい。

例会委員会 溝口雄大 君







## 10月会務室担当例会

2024.10.15 (Tue)





10月会務室担当例会では、「JCがもたらす無限の可能性」を開催させていただきました。公益社団法人東京青年会議所の高木隆太理事長にお越しいただき講演いただきました。田添理事長とのパネルディスカッションでは各理事長の考えを聞く貴重な機会となり、その後のワークショップの中ではJCに対して前向きな発言を聞くことができました。この担当例会がJC活動・運動に対する意欲向上のきっかけになれば幸いです。

例会委員会 溝口雄大 君







# 10月会務室担当例会

～番外編～  
2024.10.16 (Wed)

～番外編～

10月担当例会の翌日。

高木理事長をお迎えにホテルニュー長崎へ。せっかくお越しいただいたからには長崎を大好きになっていただきたい！



まずは軍艦島クルーズへ

晴天の中、軍艦島クルーズに行きました。現在ドラマの舞台にもなっているので、高木理事長が楽しみにしておりました。「明治日本の産業革命遺産」に含まれる軍艦島に上陸を行い、メンバーで記念撮影を行いました。



お昼はレッドランタンにて

クルーズ終了後に、譚先輩のお店「レッドランタン」へ高木理事長のお付きである、東京JC渉外委員会の栗原君が長崎に3度来崎されておりますが、一度も長崎ちゃんぽんを食べたことがないとのことで、遂にちゃんぽんを食べられ、高木理事長・栗原君ともに美味しい長崎グルメを喜んでいただきました。





## ～番外編～

午後からはスタジアムシティへ  
レッドランタンの後は、完成したばかりの  
スタジアムシティへ。全国ニュースでも話題に  
なっていたとのことと話のネタになると  
高木理事長が仰っていました。お二人で  
ジップラインも体験され楽しんでいただけた様でした。

最後に  
楽しかった長崎視察も終わりとなり  
長崎空港までお見送りして参りました。  
アテンドに際し、学びも多く  
貴重な経験をさせていただきました！

あとがき  
高木理事長から美味しい長崎の魚を食べたいとリ  
クエストをいただきましたので、例会前日に私が  
船に乗り長崎の地魚を釣りあげてきました。例会  
当日の懇親会にて高木理事長に刺身の盛り合せを  
お出ししたら、非常に感謝をされて喜んでいただ  
きました。例会委員会一同、講演のお礼として長  
崎で思い出ができたことを嬉しく思います。







# The Konshin 会員の会員による 会員のための夜

2024.10.21 (Mon)







去る、10月21日(月)出島テラスにて「TheKonshin 会員の会員による会員のための夜」が開催されました。本事業は、久しぶりのメンバーや初めましてのメンバー同士の交流の場となり、楽しい時間となりました。オリジナルのビンゴゲーム「バックグラウンドビンゴ」では、参加者の個性が光る瞬間があり、交流が一層深まったと思います。今後も、継続的に行いたいと思える事業になり、今後も団結と交流を深めていきたいと思えます。

交流委員会 爲田正平 君





# 報告



**諫早JC 創立60周年記念式典・祝賀会**

**大村JC 創立65周年記念式典・祝賀会**





一般社団法人諫早青年会議所  
創立60周年記念式典・祝賀会



諫早JC創立60周年  
記念式典・祝賀会

2024.10.19 (Sat)







去る10月19日(土)、一般社団法人諫早青年会議所創立60周年記念式典・祝賀会に長崎青年会議所メンバーで参加して参りました！諫早JCの宮崎裕一理事長からは創立から受け継がれる想い、そして次代へ繋いでいく決意をお話しいただきました。我々も同志として、足並みを揃えて活動していかなければと考える機会をいただきました。諫早JCの皆様この度は誠にありがとうございました！

渉外広報委員会 深堀 直樹 君





公益社団法人 大村青年会議所 創立65周年記念式典・祝賀会



大村JC創立65周年  
記念式典・祝賀会

2024.10.25 (Fri)

理事長挨拶

理事長

小川 哲央 君







去る10月25日(金)、一般社団法人大村青年会議所創立65周年記念式典・祝賀会に長崎青年会議所から田添理事長をはじめ7名が参加して参りました。記念式典では、大村JCの小川哲央理事長からは日頃の運動や大村JCの今後の展望などをお聞きすることができました。また祝賀会では、西大村中学校吹奏楽部の演奏が流れる華やかな演出の中、懇親を深めることができました。大村JCの皆様この度は誠にありがとうございます！



渉外広報委員会 藤本 真希 君

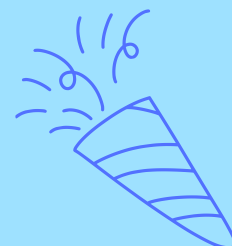




# 11月のお誕生日



## 特集



**11/4**



常務理事  
立川 元規 君

**11/6**



例会委員会  
北島 秀基 君

**11/7**



ひとづくり委員会  
中村 恭輔 君

**11/13**



総務委員会  
田中 裕美 君

**11/15**



例会委員会  
古川 弘大 君

**11/29**



地域室 担当副理事長  
西岡 英樹 君

**11/29**



まちづくり委員会  
深堀 弘樹 君

**11/29**



拡大開発委員会  
品川 航路 君



# 11月の予定

## 11月例会

### 事業について教えてください

11月例会では理事長挨拶・理事会報告・委員会報告・出向者報告を共有できるとともに、会員が相集うことで交流できる場がございます。第3部の例会アワーshow timeでは、各委員会・事務局の頑張った方を選抜いただき代表としてご登壇いただきます。

### 皆さんへのお願いごと

委員会報告時に超過をする委員会がございますが、内容につきまして委員会内容をメインで行って下さい。また例会中の退出が多く見受けられますので途中退出はお控え下さい。



例会委員会  
関 委員長

## 11月担当例会

### 事業について教えてください

11月担当例会では、各委員会・事務局の皆様にご協力いただきまして1年間の振り返りを行っていただきます。

全会員で各委員会・事務局のJC活動・運動の情報共有を図るとともに、会員のJC活動・運動の意識向上を行い長崎JCとしての一体感を高め組織力強化を目的とします。

### 皆さんへのお願いごと

会員の相互理解を促進しJC活動・運動への参加意義を更に高めるためには、これまでの軌跡や成果を振り返り共有し、相互に称賛することが大切です。



例会委員会  
関 委員長



# 11月の予定

## フォローアップセミナー

### 事業について教えてください

長崎青年会議所の新入会員が主体となって事業の構築・実施を行い、同期としての絆や一体感を高め、今後のJC活動で長崎の核となる人材になることを目的とした事業です。

### 皆さんへのお願いごと

今年度は長崎伝来 若人の舞台～海を越えてやってきた娛樂たち～というタイトルを掲げ長崎の歴史と長崎が伝来の娛樂たちの発表があります。楽しいミニゲームや寸劇もあり、新入会員から正会員、皆さんが交流しながら楽しく学べる内容なのでぜひ皆さん楽しみにして下さい！



拡大開発委員会  
大濱 委員長



ひとづくり委員会  
溝上 副委員長

## Empower The Future ～このまちで働くということ～

### 事業について教えてください

来る11月23日(土)に「Empower The Future ～このまちで働くということ～」が開催されます。

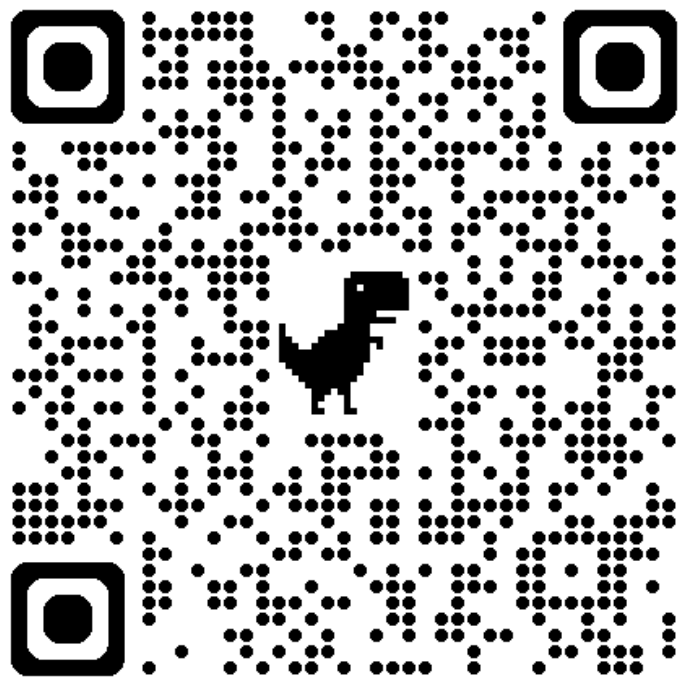
長崎で輝く企業5社の従業員さんをお招きし、参加者には長崎の企業で実際に働く従業員の話聞き、長崎で働く実例を知っていただきます。また企業や働くひとの実例を知ることで、長崎での就職を選択する可能性の向上を図る目的の事業です。

### 皆さんへのお願いごと

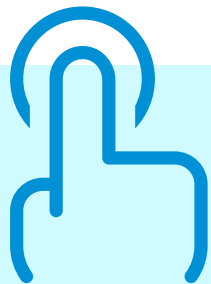
当日は是非ご参加いただき、自身が所属する企業以外の社員の想いや実情、学生の地域への想いやアイデアを知っていただき、人材育成や採用活動など自身の社業に活かせるヒントを得ていただきたいと思います。



# アンケートにご協力を 宜しくお願い致します



←正会員の方は  
こちらをタッチ



特別会員の方は→  
こちらをタッチ

